

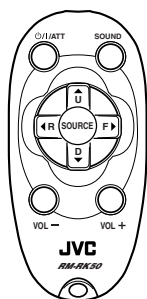
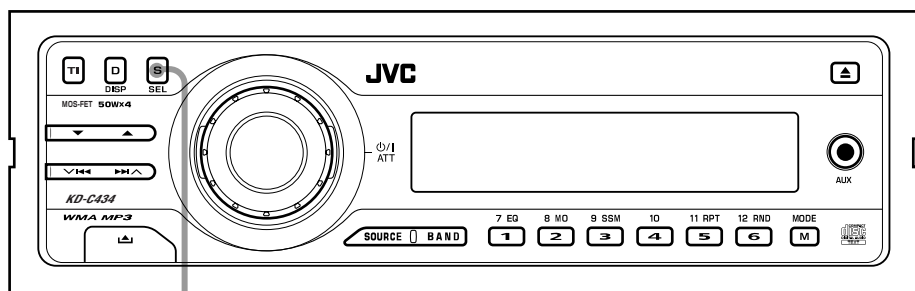
# JVC

# 取扱説明書

## CDレシーバー

# 型名 KD-C434

COMPACT  
disc  
DIGITAL AUDIO  
TEXT



### デモ表示について

- 本機の操作を20秒以上しないと、自動で表示窓がデモ表示に変わります。解除したいときは、**32**ページの「SELボタンのモード一覧」をご覧ください。「DEMO OFF」に切替えてください。

### 〈お知らせ〉

- お買い上げ時は、コントロールパネルが本体から外れています。**38**ページの「コントロールパネルの着脱」をご覧ください。本体に取り付けてください。

— お買い上げありがとうございます —

**!**ご使用前に

この「取扱説明書」と「取付説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

GET0295-001B

# もくじ

	ページ		ページ
●安全上のご注意 .....	3~5	・ CDを取り出す .....	26
●使用上のご注意 .....	6~7	・ CDの盗難防止 .....	26
●各部の名前 .....	8~9	・ CDのお手入れ .....	26
●リモコン(RM-RK50) の使いかた .....	10~11	●CDチェンジャー(別売り)の CDを聞く .....	27~30
●基本操作 .....	12	・ 全曲演奏(全CDのくり返し演奏) .....	27
●時計を合わせる .....	13	・ 曲(ファイル)の頭出し/早送り・早戻し .....	28
●ラジオを聞く .....	14~17	・ ダイレクト演奏 .....	28
・ 放送局を選ぶ .....	14	・ フォルダの頭出しをする .....	28
・ 放送局を自動でメモリー(記憶)させる ..	14	・ CD演奏中の表示内容を変える .....	28
・ 放送局を選んでメモリー(記憶)させる ..	15	・ いろいろな再生モードを使用する .....	29~30
・ 放送局を呼び出す(プリセット選局) ..	15	●他の機器の音を聞く .....	31
・ 道路交通情報を聞く .....	16	・ CDチェンジャー端子を使うとき .....	31
・ FM放送が雑音で聞きにくいときは .....	16	・ フロントAUX端子を使うとき .....	31
・ 放送受信中の表示内容を変える .....	17	●SELボタンを使って設定を変える ...	32~34
・ アンテナリモートについて .....	17	・ 各モードの機能説明 .....	33~34
●音楽用CD/MP3/WMAディスク を聞く .....	18~26	●文字の入力のしかた .....	35
・ MP3/WMAディスクについて .....	18	・ 文字の入力と修正・削除 .....	35
・ CD-R/CD-RWディスクについて .....	19	●音量・音質の調節 .....	36~37
・ CDテキストについて .....	19	・ EQボタンで音質を選ぶ .....	37
・ ディスク挿入後の表示について .....	19	・ EQのメモリー内容を変える .....	37
・ 曲(ファイル)の頭出し/早送り・早戻し ..	20	●コントロールパネルの着脱 .....	38
・ ダイレクト演奏 .....	20	・ コントロールパネルを外す .....	38
・ 曲を10ずつダイレクトに選ぶ .....	21	・ コントロールパネルを取り付ける .....	38
・ MP3/WMAのフォルダとファイルの 演奏順序 .....	22	●故障かな?と思う前に .....	39~41
・ ダイレクトフォルダアクセス機能 .....	22	・ こんな表示のときは .....	41
・ 次または前のフォルダにスキップする ..	23	●保証とアフターサービス .....	42
・ いろいろな再生モードを使用する ...	23~24	●主な仕様 .....	43
・ CD演奏中の表示内容を変える .....	25	●お手入れ .....	裏表紙
・ MP3ディスク演奏中の表示内容を変える ..	25		

# 安全上のご注意

—はじめにお読みください—

## 絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



- この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

### ●絵表示の説明

注意をうながす記号



一般的注意



手をはさまれないよう注意

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止

行為を指示する記号



一般的指示

# 安全上のご注意(つづき) –はじめにお読みください–

## 警告

本機はDC12Vマイナスアース車専用です。



- ・大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災・故障の原因となります。

事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管する。



- ・万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

コード類は、取付説明書または取扱説明書の指示に従い、運転操作の妨げとならないよう、まとめておく。



- ・ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となります。

車両電源配線用コード以外で延長しない。



- ・コードの被覆が破れ、ショート・発熱により火災となったり電源容量オーバーにより火災の原因となります。

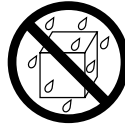
本機を分解したり、改造しない。



分解禁止

- ・事故・火災・感電・故障の原因となります。

車内に飲みかけのパック飲料等を放置しない。



水ぬれ禁止

- ・カップホルダーの取付位置によっては、こぼれた飲料が本機の内部に入り発煙や発火・故障の原因となります。

音が出ないなどの故障や異常のままで使用しない。



- ・万一、故障や異常(異物が入った・水がかかった・煙が出る・変な匂いがするなど)が起きたら、すぐに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談ください。そのまま使用すると、事故・火災・感電の原因となります。

ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア数)のヒューズを使用する。



- ・規定容量以上のヒューズを使用すると、火災・故障の原因となります。

自動車を運転中に音量調節等の操作をしない。



- ・このような操作は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。

# ⚠ 注意

**本機の通風孔や放熱板をふさがない。**



- ・通風孔や放熱板をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

**運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する。**



- ・車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

**ディスク挿入口に異物を入れない。**



- ・火災や感電・故障の原因となることがあります。

**ディスク挿入口に手や指を入れない。**



- ・けがの原因となることがあります。

手をはさまれないよう注意

**本機を車載用以外には使用しない。**



- ・感電やけがの原因となることがあります。

**指定の電池以外は使用しない。**



- ・電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

**電池をリモコン内に挿入する場合は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖)に注意し、内部の表示通りに入れる。**



- ・間違えますと電池の破裂、液もれにより、けがや周囲を汚す原因となることがあります。

**リチウム電池を廃棄するときは、電池に絶縁テープ等を張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄する。**



- ・他の金属片等と、そのまま一緒に廃棄するとショートして発火、破裂の原因となることがあります。

**電池をショートさせたり、分解や加熱をしたり、火や水の中に入れない。**



- ・電池の破裂、液もれにより火災やけがの原因となることがあります。

# 使用上のご注意

●本機はDC12V、マイナスアース車専用です。大型トラックなどの24V車には使用できません。

●スピーカーはアンプの出力(1チャンネル当たり50W)に対し、入力に十分余裕のあるもの、インピーダンス4Ω～8Ωのものをお使いください。

●次のような場所は避けて取り付けてください。

- ・直射日光の当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける所など、温度が極端に高くなる場所
- ・雨が吹き込む所や水がかかったり、湿気の多い所
- ・ほこりの多い所

●安全運転のために…

- ・運転中は車外の音が聞こえる程度の音量に調節してお楽しみください。また**操作は、必ず安全な場所に停車させてから行ってください。**
- ・ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

●車内の温度は…

真夏の炎天下や冬期低温下で長時間駐車した後に、CDを聞くとときは、車内が常温に近くなるまでお待ちください。  
(使用温度範囲：0℃～+40℃)

●LCD表示(表示窓)について

極端に高温または低温になると、表示の動きが遅くなったり、暗くなったりすることがあります。これはLCDの特性によるもので故障ではありません。車内が常温に戻れば回復します。

●バッテリーの過放電を防ぐため、エンジン停止中やアイドリング中は、大きな音量で長時間使用しないでください。

●結露(つゆつき)について

次のような場合、本機のレンズなどが結露してCDが正常に演奏できないことがあります。

- ・エアコン(暖房)を入れた直後
- ・湿気が多いとき

このようなときは、電源を入れたまま約1～2時間待ってからお使いください。

●海外での使用は…

本機は日本国内用です。海外での使用はできません。

●スピーカーコードの接続について

本機はBTL\*回路方式を採用していますので、スピーカーの接続は必ずこの取付説明書の通りにしてください。

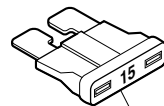
既設のスピーカーコードを利用するとき、左右のスピーカーコードの<sup>マイナスイ</sup>側が車の金属部に接続されていたり、<sup>プラス</sup>側同士が接続されていると故障の原因になります。

<sup>バランスド</sup> \*BTL : Balanced Transformerlessの略 <sup>トランスフォーマーレス</sup>  
2組のパワーアンプを互いに逆相で駆動し、比較的低い電圧で高出力が得られる回路方式のことです。

●ヒューズの交換について

本機のヒューズは15A(アンペア)です。交換してもすぐ切れるときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

また、15Aを超えるヒューズは絶対に使用しないでください。



ヒューズ(15A)

●携帯電話を使用する場合は…

携帯電話を置く位置や向きによっては、雑音が生じることがあります。できるだけ本機から離してお使いください。ただし、走行中は交通安全のため携帯電話を使用しないでください。

## CD/CD-R/CD-RWの取扱いについて

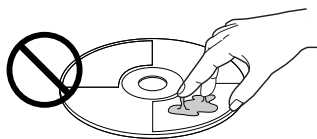
● **CD/CD-R/CD-RWを保管するときは** 専用のケースに入れ、直射日光の当たる所、ダッシュボードの上などは避けて保管してください。記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。

● **CD-R/CD-RWの取扱いについて** CD-RやCD-RWは、通常の音楽CDより反射膜が弱いため傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取扱いには十分注意してください。

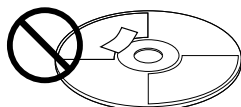
● **次のようなディスクは使用しないでください。**

本体内部にディスクが張り付いて取り出せなくなったり、大切なディスクが反ったり傷がついたりすることがあります。

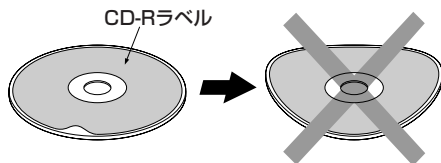
- ・ 中古CDやレンタルCDでシールなどのノリがはみ出したり、シールをはがしたあとにノリが付着しているもの。またラベル面に印刷されているインクにべたつきのあるもの



- ・ レンタルCDでシールが張ってあるもの (特にめくれているもの)



- ・ 記録面に保護シールなどを張ってあるもの
- ・ ラベル面にCD-Rラベルなどのラベルやシールを張ったもの

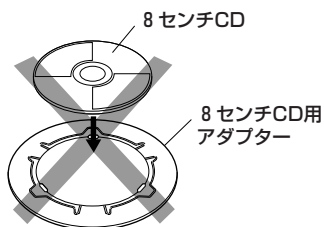


CD-Rラベルなどが張ってあると、本機内部の温度上昇によりディスクが反って音飛びや演奏停止などを起こすことがあります。

- ・ ラベル面に直接印刷できる  
インクジェットプリンター対応CD-R  
(印刷したもの)

※ **CD-Rラベルや印刷可能CD-Rの「使用上の注意」などをよくお読みになり、正しくお使いください。**

- **ハートや花などの形をした特殊形状のCDは、絶対に使用しないでください。** 円形以外のCDを使用すると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。
- **8センチCD用のアダプターは、使用しないでください。故障の原因となります。8センチCDは、そのまま挿入してください。**



- **長時間CDを使用しないときは、必ず本機から取り出しておいてください。**

# 各部の名前

— ( )内のページに説明があります。—

## ⏻/ (電源) / ATTボタン (→12)

電源の「入」↔「切」ができます。

## リモコン受光部

付属のリモコン(RM-RK50)の信号をここで受信します。(→10)

トラフィックフォーマーション

## TIボタン\* (→16)

道路交通情報を聞くと使います。

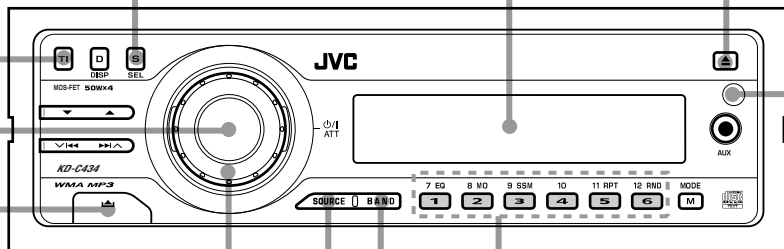
セレクト

## SELボタン (→13、32、36)

音量・音質調節のモードが選べます。(→18)  
2秒以上押しすと、時計合わせなどの各種設定モードになります。

## ▲ (CD取出し) ボタン

## 表示窓 (ディスプレイ)



## 回転ボリューム

### (→12、32、36)

音量調節や各種の設定ができます。

ソース

## SOURCEボタン\*

### (→12、26、27、31)

ソース(音源)を「ラジオ」にしたり「CD」または「CDチェンジャー」にすることができます。

バンド

## BANDボタン\* (→14)

FMまたはAMの聞きたいバンドを選ぶことができます。

## 数字ボタン

- ・「CD」「MP3/WMAディスク」「CDチェンジャー」のとき：1～12が機能します。(→20、22、28)
- ・「ラジオ」のとき：1～6が機能します。(→15)

## ▲ (コントロールパネル取り外し) ボタン (→38)

\*印のボタンは電源を「入」にすることもできます。



## ◀◀、▶▶ボタン/選局ボタン(∨、∧)

- 「CD」「MP3/WMA ディスク」「CDチェンジャー」のとき：  
曲の頭出しや早送り、早戻しができます。(⇒20、28)
- 「ラジオ」のとき：  
放送局を選局するとき使います。(オート選局/マニュアル選局) (⇒14)

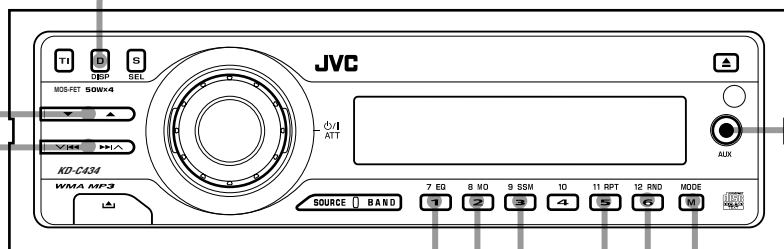
## ▲、▼ボタン

- 「CD」「MP3/WMA ディスク」「CDチェンジャー」のとき：  
MODE ボタンと併用すると、前後10曲の頭出しができます。(⇒21、28)  
「MP3/WMA ディスク」の場合、▲(または▼)ボタンは、次または前のフォルダにスキップすることができます。(⇒23)  
「CDチェンジャー」の場合、CDを選ぶことができます。(⇒28)

## ●「ラジオ」のとき：

プリセット選局ができます。(⇒15)

ディスプレイ  
DISPボタン(⇒25、28、35)



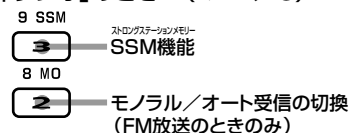
## 数字ボタン(MODEボタンを押したあとの働き)

「MODE」表示が点滅中に操作します。

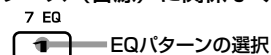
- 「CD」「CDチェンジャー」のとき：  
(⇒23、24、29、30)



- 「ラジオ」のとき：(⇒14、16)



- ソース(音源)に関係なく：(⇒37)



## モード MODEボタン

数字ボタンの働きを一時的に変えることができます。  
(⇒14、16、23、24、29、30、37)

▲、▼ボタンの働きも一時的に変えられます。  
(⇒21、28)

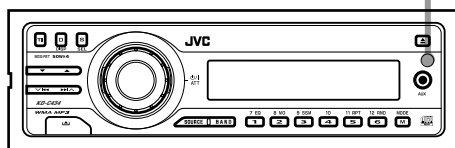
## フロントAUX端子 (⇒31)

# リモコン(RM-RK50)の使いかた

## リモコンの使いかた

- リモコン受光部に正しく向けてボタンを押します。
- 操作範囲は受光部正面より約±30°の範囲ですが、斜めから操作すると受信しにくくなります。
- 受光部に直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。また受光部の前に障害物を置かないでください。(動作しないことがあります)
- リモコンに付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池(CR2025:市販品)と交換してください。

## リモコン受光部

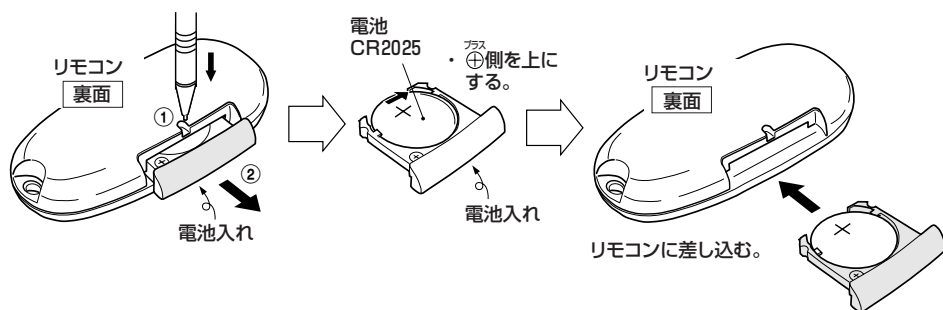


## ご注意

- 長時間直射日光が当たる場所(ダッシュボードの上など)に、リモコンを置かないでください。変形や故障の原因となります。

## 電池の入れかた

ボールペンなどを電池入れの溝に入れて引き出す。



## ● 電池の交換時期(目安)は…

リモコン操作のできる距離が短くなったり、動作が不安定になってきたときは、電池が消耗しています。新しい電池と交換してください。

使用済みの電池は、絶縁テープなどを張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

## 各部の名前

### ⏻/⏻(電源)/ATTボタン

1秒以上押しと電源の「入」↔「切」ができます。「ボン」と押しと音量を一時的に下げることができます。

### ▲U (up) ボタン

- ・「ラジオ」のとき：バンドが選べます。
- ・「CDチェンジャー」のとき：CDが選べます。
- ・「MP3/WMAディスク」のとき：次のフォルダにスキップします。

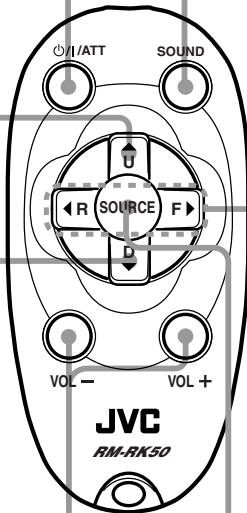
### ▼D (down) ボタン

- ・「ラジオ」のとき：プリセットしてある放送局(1ch~6ch)の選局ができます。プリセット選局になります。
- ・「CDチェンジャー」のとき：CDが選べます。
- ・「MP3/WMAディスク」のとき：前のフォルダにスキップします。

### VOL+、VOL- (音量) ボタン

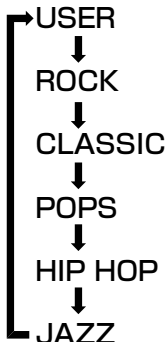
音量の調節ができます。

- ・VOL+：音量が上がります。
- ・VOL-：音量が下がります。



### SOUNDボタン

EQパターンがダイレクトに選べます。



### ◀R (reverse)、▶F (forward) ボタン

- ・「ラジオ」のとき：オート選局(SEEK)ができます。
- ・「CD」と「CDチェンジャー」のとき：曲(ファイル)の頭出しや早送り、早戻しができます。

### SOURCEボタン

ソース(音源)を選ぶとき使います。押しごとに

ラジオ → CD → CD-CH  
(FMまたはAM) (EXT IN)

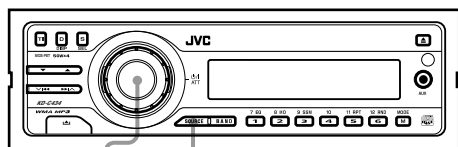


と変わります。ただし本体にCDが入っていないかたたりCDチェンジャーが接続されていないときはラジオ(FMまたはAM) → AUX INになります。

# 基本操作

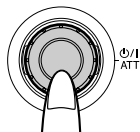
## 準備

- 車のエンジンをかける。本機は、エンジンキーが「OFF」またはACC「OFF」の状態では電源を入れることができません。



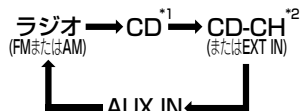
1・3 2

## 1 電源を入れる



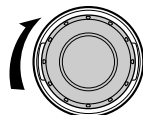
・「HELLO…JVC」が表示され、電源を切る前のソース(音源)…お買い上げ時はFM1…が表示されます。

## 2 ソース(音源)を選ぶ



- \* 1 本機にCDが入っているとき選べます。
- \* 2 CDチェンジャーが接続されているとき選べます。

## 3 音量を調節する

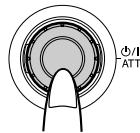


・調節範囲  
VOL 00～VOL 50  
(初期設定 VOL 15)

- 音量を一時的に下げる

●I(電源)/ATTボタンを「ボン」と押すと、「ATT」が点滅表示され音量が下がります。もう一度押すと元の音量に戻ります。

## ●電源を「切」にする



●I(電源)/ATTボタンを1秒以上押します。

「SEE YOU」が表示され電源が切れます。このとき、車のエンジンキーが「ACC」または「ON」のときは、本機のVOLリングのイルミネーションが薄く点灯します。

- 車のエンジンキーが「OFF」のときでも次のボタンは、操作できます。

- ・▲(CD取出し)ボタン…CDの出し入れ
- ・DISPボタン…5秒間時計表示

ただし、これらのボタンを押して電源を入れることはできません。

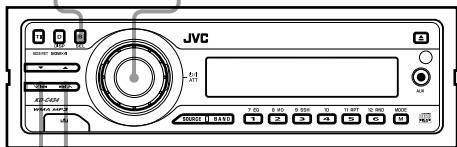
## 〈お知らせ〉

- ▲(CD取出し)ボタンは、電源「切」のときでも操作できますがソース(音源)は切りかわりません。
- 音量・音質の調節は36～37ページをご覧ください。

# 時計を合わせる

## 時計を合わせる

### 1・4 3-1・3-3



### 2・3-2

#### 1 SEL を2秒以上押す

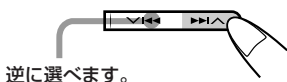


- ・お買い上げ時は「DEMO」が表示されます。
- ・これ以外のときは、選ばれているモードが表示されます。

・2秒以上押す。

15秒以内に

#### 2 時計 (または電源) を数回押し「CLOCK H」を選ぶ



逆に選べます。

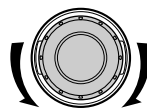
→ CLOCK H

15秒以内に

#### 3 時計と表示で現在時刻に合わせる

例：7時30分に合わせる  
(12時間表示方式です)

##### 3-1 「時」を合わせる

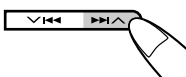


「時」を戻す 「時」を進める



1秒ごとに点滅

##### 3-2 「CLOCK M」を選び...



##### 3-3 「分」を合わせる



「分」を戻す 「分」を進める

15秒以内に

#### 4 SEL を押す



- ・元のソース(音源)の表示に戻ります。SELボタンを押さないときは、15秒後に元のソース(音源)の表示に戻ります。

### 〈お知らせ〉

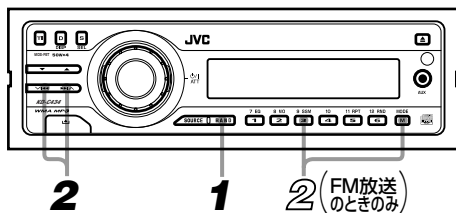
- 本機の時計は、月に1分程度のズレを生じることがあります。
- 時刻を合わせ直すときも手順1~4の操作をします。
- SELボタンを使ってその他の設定を変更したいときは、32~34ページをご覧ください。

# ラジオを聞く

## 1 BAND を押してバンドを選ぶ

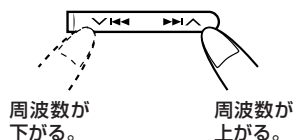


・押すごとに  
FM1 → FM2 → AM1  
← AM2 ←  
と選べます。



## 放送局を選ぶ

## 2 選局ボタン (または) を押して選局する



周波数が  
下がる。

周波数が  
上がる。

- オート選局：「ポン」と押して離す。  
(シーク) 本機が自動で放送局を探し、受信すると停止します。
- マニュアル選局：1秒以上押して「M」を点滅表示させたあと、「ポン・ポン」と押して選局する。  
・ FMは0.1 MHz、AMは9 kHzずつ変わり、押し続けると連続して変わります。

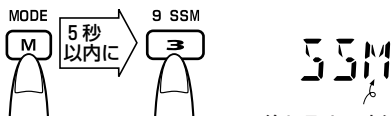
## 〈お知らせ〉

- 受信状態が悪いと、オート選局が自動停止しないことがあります。
- マニュアル選局のモードは、選局の操作を止めてから5秒後に自動で解除されます。
- AM放送はモノラル受信です。

## 放送局を自動でメモリー(記憶)させる

—SSM(ストロングステーションメモリー)機能—

## 2 MODE を押したあと5秒以内に 9 SSM を1秒以上押す(FM放送のときのみ)



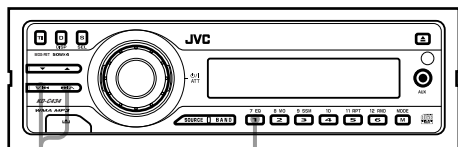
- ・「MODE」表示が点滅します。
- ・1秒以上押す。
- 終わるまで点滅表示されます。
- 本機が自動で電波の強い放送局を数字ボタンの **1** ~ **6** にメモリーしていきます。
- メモリーし終わると数字ボタン **1** に記憶された放送局が表示されます。
- FM 1 (またはFM 2) ごとに6局ずつメモリーされます。

## 〈お知らせ〉

- SSM機能を使うと、すでにFM 1 または FM 2 にメモリーしてあった放送局は取り消されます。
- 放送局が6局より少ないときは、前のメモリー内容が残ります。
- 受信状態が悪いと、うまくメモリーされないことがあります。よく受信できる所に移動してから操作してください。
- AM放送のときは、SSM機能が動きません。
- 放送を聞くときは、プリセット選局が利用できます。(⇒15ページ参照)

## 放送局を選んでメモリー（記憶）させる

SSM機能を使って自動でメモリーされるほかに、放送局を選んでから数字ボタンにメモリーしておくこともできます。

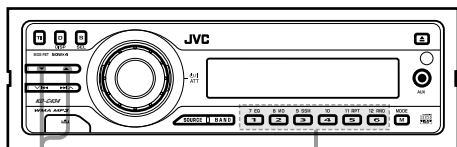


1

2

## 放送局を呼び出す（プリセット選局）

数字ボタン（1～6）にメモリー（記憶）されている放送局がワンタッチで選局できます。



1b

1a

例：FM放送の81.3MHzを **1** ボタンにメモリーする

## 1 選局ボタン (または ) でFM81.3MHzを選局する

14ページの「放送局を選ぶ(オート選局またはマニュアル選局)」参照

## 2 数字ボタンの **1** を2秒以上押す



・2秒以上押す。

→ 81.3



押した数字ボタンと同じ数字が点滅表示されると、メモリーされます。これをマニュアルプリセットといいます。

- 数字ボタンのメモリー順を変えたり、新しい放送局を追加するときなどに使うと便利です。AM放送は、必ずこの手順でメモリーしてください。

### 〈お知らせ〉

- FM放送の場合、この操作はSSM機能で放送局をメモリーした後にしてください。あとからSSM機能を利用すると、取り消されることがあります。
- 数字ボタンは必ず2秒以上押し続けてください。短いとメモリーされません。

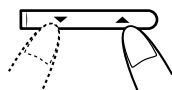
## 1a 数字ボタン（1～6）を押して選局する

(プリセット選局といいます)



- 数字ボタン（1～6）にメモリー（記憶）されている放送局がワンタッチで選局できます。  
(数字ボタンは2秒以上押し続けしないでください)

## 1b (または ) を押して選局する



プリセット  
P6→P5...→P1

の順に選局できます。

プリセット  
P1→P2...→P6

の順に選局できます。

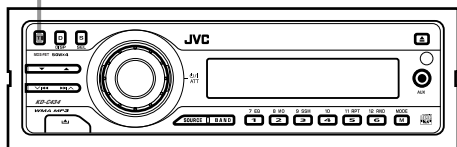
### 〈ご注意〉

- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、メモリー（記憶）した放送局は取り消されます。また時刻表示は1:00に戻ります。電源を接続したらもう一度設定し直してください。

# ラジオを聞く (つづき)

## 道路交通情報を聞く

1





1 **TI** を押す





TI → 1620 TI

高速道路などの特定地域では、AM1620 kHzで道路交通情報を聞くことができます。聞きたいところでTI\*ボタンを押すと、ソース(音源)に関係なくAM1620kHzが受信できます。

### ● AM1629kHzで道路交通情報を行っている地域するとき

AM1620kHz受信中に  (または ) を押すと、AM1629kHzが受信できます。

もう一度  (または ) を押すと、AM1620kHzの受信に戻ります。

- TIボタンを押して放送を聞いている状態では、放送局名を表示させることはできません。
- このモードのときはボリュームが独立しておりますので、聞きやすい音量に調節してお使いください。もう一度押すと元のソース(音源)に戻り、音量も元に戻ります。

\*TIとは…

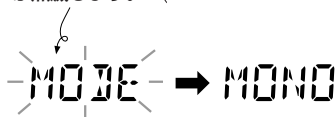
トラフィック インフォメーション  
Traffic Information(交通情報)の略です。

## FM放送が雑音で聞きにくいときは

FMステレオ放送受信時に、電波状態が悪くて雑音が多いときは、FM放送を「モノラル受信モード」に切替えます。



「MODE」表示が点滅します。(レベルメーターがカウントダウン表示になります。)



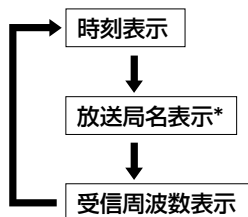
表示窓に「MO」が表示され、モノラル受信モードになり聞きやすくなります。電波状態が良くなったらもう一度同じ操作で「MONO OFF」に切替えます。FMステレオ放送を受信すると「ST」が表示されます。



## 放送受信中の表示内容を変える



DISPボタンを押すと、  
表示内容を変えることが  
できます。



\*放送局名を入力していないときは「NO NAME」が表示されたあと、受信周波数表示になります。なお、放送局名はスクロール表示されません。

## 〈お知らせ〉

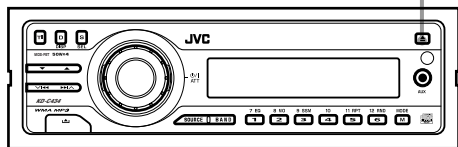
- 放送局名を入力するときは「文字の入力のしかた」(→35ページ)をご覧ください。
- 放送局名を一度入力すると、バンドを変えてその周波数を選局しても同じ放送局名が表示されます。

## アンテナリモートについて

- 電動アンテナ装備車およびアンテナブラスター装備車の場合は、アンテナコントロール電源コードを車両側の対応する端子(オートアンテナ)に接続してください。ソース(音源)を“ラジオ”にすると自動的にアンテナ(ブラスター)側に電源が供給されます。“CDチェンジャー”や“CD”などにソース(音源)を切換えると、自動的にアンテナ側への電源が切れます。

(アンテナコントロール電源コード)  
の最大コントロール電流は250mA  
です)

# 音楽用CD/MP3/WMAディスクを聞く



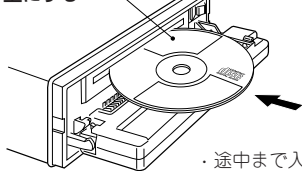
1

## 1 ▲ (CD取出し)を押す

コントロールパネルが開いてCDの挿入口が現われます。

## 2 CDを入れ、コントロールパネルを閉める→ソース(音源)が「CD」になり演奏がスタート

文字のある面を上にする



途中で入れると、CDが自動で中に引き込まれます。

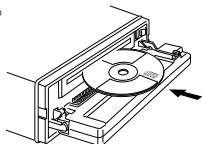
演奏を止めるまで、すべての曲がくり返し演奏されます。

演奏を止める:

▲ を押してCDを取り出すか、SOURCE を押してソース(音源)を切り換えます。

## ● 8センチCDの入れかた

8センチCDは、挿入口の中央から軽く押し入れて入れます。



## 〈お知らせ〉

- 文字のある面に次のいずれかのマークが入っているCDをお使いください。



- 本機では、CD規格(CD-DA)に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。CDを演奏するときは、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。
- 「PLAY —」表示中は、ディスクを読み込んでいます。読み込みが終わると、演奏が始まります。なおCD-RWディスクのときは、多少時間がかかります。
- ▲(CD取出し)ボタンを押すとCDが出てきます。このときCDを取らずにそのままにしておくと15秒後に再び中に引き込まれます。このとき、CDの演奏は始まりません。

## MP3/WMAディスクについて

- 多くの階層を持つディスクやCD-RWに記録したディスク、マルチセッションディスクでは演奏が始まるまで時間がかかります。
- 階層化したフォルダのあるディスクは、8階層まで演奏できます。
- ルートとは、現在開いているMP3/WMA\*ディスクの最上階層のフォルダのことです。
- 同一階層内のフォルダやファイルは、ライティングソフトによってMP3/WMAディスクに書き込まれた順序で演奏されます。一般的には名前前の数字・アルファベット順に書き込まれるためフォルダ名、ファイル名の初めに数字(01A、01B…など)をつける、演奏順序を指定できることがあります。

\* WMA(Windows Media® Audioの略)は、米国Microsoft社の開発した音声圧縮フォーマットです。

## 〈お知らせ〉

- 詳しくは、別冊の「音楽用ファイルMP3/WMAについて」もご覧ください。

## CD-R/CD-RWディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理がされているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用CDフォーマットで記録されたディスクおよびISO9660フォーマットで記録されているディスク上のMP3/WMAファイルを再生できます。ただし、ディスクの特性や記録状態によっては再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上の注意をよくお読みください。
- ディスクの特性・傷・汚れまたはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で演奏できないことがあります。
- CD-RWディスクは、反射率が他のCDより低いためCDの演奏がスタートするまで時間がかかります。
- CD-R/CD-RWディスクは、高温多湿な環境に弱いため車内に放置すると、記録されているデータが劣化して再生できないことがあります。
- CDテキストを入力したCD-R/CD-RWディスクは、テキスト内容により演奏するまでに時間がかかることがあります。
- CD-R/CD-RWディスクにCDテキストを入力した場合、お客様の使用環境(PCやCD-R/CD-RWドライブ、ライティングソフト)によっては本機に正しく表示されないことがあります。

## 〈お知らせ〉

- 日本語(漢字、ひらがな、カタカナ)は正しく表示されません。  
(シフトJIS第三水準以上の文字は表示されません)

## CDテキストについて



本機でCDテキスト対応のCDを演奏するとアルファベットや数字で「CDテキスト」データを表示します。

## ディスク挿入後の表示について

- 音楽用CDのとき  
ディスクを挿入すると、「PLAY --」が表示されます。

- ① 総演奏時間      ② 総曲数



- ③ 演奏経過時間      ④ 曲番号

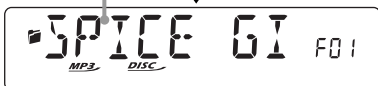


- MP3/WMAディスクのとき  
ディスクを挿入すると、「PLAY --」表示のあと「CHECK」が表示されます。

- ① 総フォルダ数      ② 総曲(ファイル)数



- ③ フォルダ名



- ④ アルバム名 / 演奏者名  
(またはフォルダ名\*)



- ⑤ 曲名  
(またはファイル名\*)



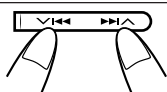
- ⑥ 演奏経過時間      ⑦ ファイル番号



\* TAG設定が「OFF」のとき、またはTAG情報が記録されていないとき。

# 音楽用CD/MP3/WMAディスクを聞く (つづき)

## 曲(ファイル)の頭出し/早送り・早戻し

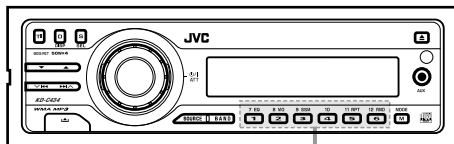


<p>曲(ファイル)の頭出し (スキップ)</p>	<p>▶▶ : 押しごとに次の曲(ファイル)の頭に移ります。 ◀◀ : 演奏中の曲(ファイル)の頭に戻ります。押しごとに前の曲(ファイル)の頭に戻ります。</p>
<p>早送り・早戻し (サーチ)</p>	<p>▶▶ : 押し続けている間早送りされます。 ◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。 演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。</p>

## ダイレクト演奏

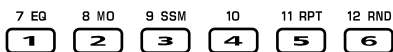
### 音楽用CDの場合のみ

聞きたい曲がダイレクトに選べます。



1

## 1 数字ボタン(1~6)を押す



- 1~6曲目を選ぶときは、数字ボタンの1~6のいずれかを「ポン」と押します。

### 例: 3曲目を選ぶ

9 SSM  
3 を「ポン」と押します。

- 7~12曲目を選ぶときは、数字ボタンを1秒以上押します。

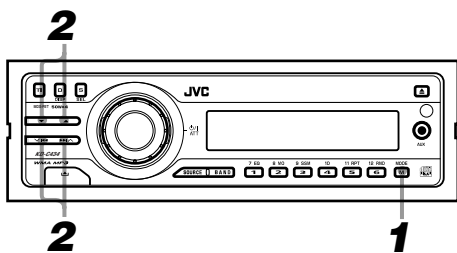
### 例: 12曲目を選ぶ

12 RND  
6 を1秒以上押します。

- 13曲目以上を選ぶときは、「曲を10ずつダイレクトに選ぶ」(→21ページ参照)をご覧ください。

## 曲を10ずつダイレクトに選ぶ

10曲単位で曲(ファイル)を飛ばして、聞きたい曲(ファイル)が素早くダイレクトに選べます。



## 1 MODE M を押す

「MODE」表示が点滅します。

例: 音楽用CDのとき



例: MP3/WMAディスクのとき



5秒以内に

手順2へ進みます。

## 2 上下(または左右)を押して曲(ファイル)を選ぶ

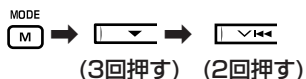
もっとも近い10の倍数(10, 20, 30...)の曲(ファイル)番号に変わります。その後はボタンを押すごとに、10ずつ曲(ファイル)番号が変わります。

例: 曲番号6の演奏中に曲番号32を選ぶときは



曲番号6 → 10, 20, 30 → 31, 32

例: 曲番号36の演奏中に曲番号8を選ぶときは



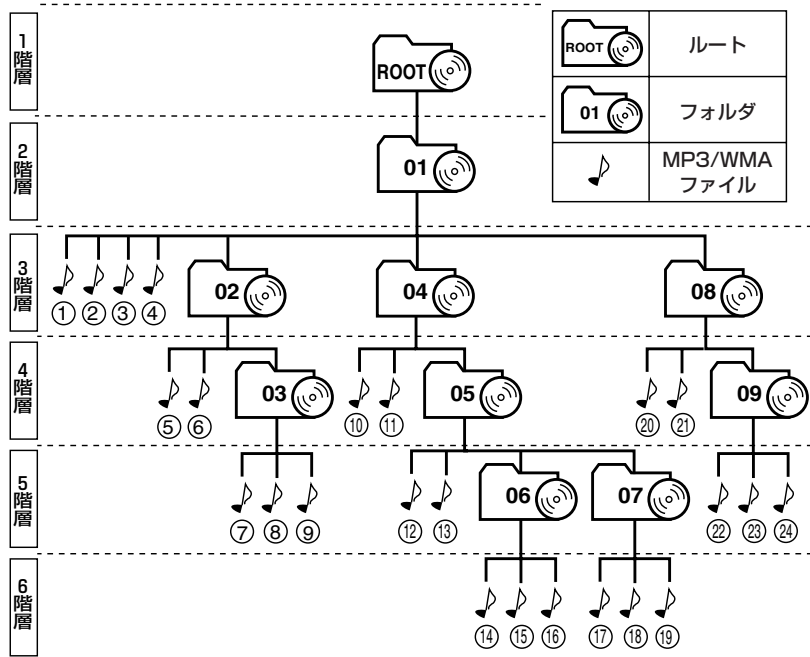
曲番号36 → 30, 20, 10 → 9, 8

## 〈お知らせ〉

- 曲数が10曲に足りないときは、最後の曲が選ばれます。
- 音楽用CDの場合、最後の曲まで移動した後に次の曲を選ぶと、最初の曲に戻ります。
- MP3/WMAディスクの場合、前後10曲ずつダイレクトに選べるのは同じフォルダ内のファイルに限ります。

# 音楽用CD/MP3/WMAディスクを聞く (つづき)

## MP3/WMAのフォルダとファイルの演奏順序



### ダイレクトフォルダアクセス機能

#### MP3/WMA ディスクの場合のみ

聞きたいファイルのフォルダがダイレクトに選べます。

この機能を使うためには、あらかじめフォルダの名前の最初の2文字に「01」から「12」までの数字をつけておきます。

- フォルダ名「05ABC」を選ぶとき

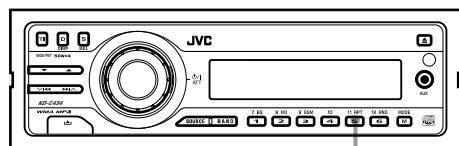
**1a** <sup>11 RPT</sup> **5** を押す

フォルダ「05ABC」の最初のファイルの演奏が始まります。

- フォルダ名「11WXYZ」を選ぶとき

**1b** <sup>11 RPT</sup> **5** を1秒以上押す

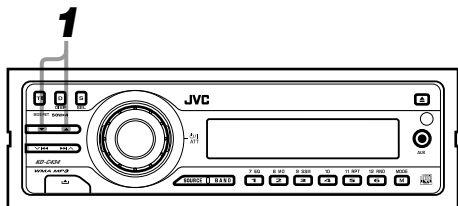
フォルダ「11WXYZ」の最初のファイルの演奏が始まります。



**1a・1b**

## 次または前のフォルダにスキップする

ディスク内のフォルダの演奏順序や階層構造に従って、フォルダを選ぶことができます。左ページの図を例にして説明します。



### ●演奏順序で選ぶ

左ページの図のフォルダの演奏順序(「01」、「02」、「03」…)に従ってフォルダを選ぶことができます。

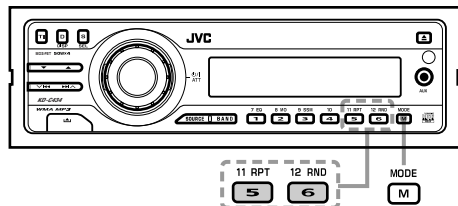
## 1 (または) を押す

ボタンを押すごとにフォルダが切り換わり、選んだフォルダの最初のファイルの演奏が始まります。

## 〈お知らせ〉

- MP3/WMAディスクの場合、最後のフォルダ(左ページの例では「09」)まで移動した後に次のフォルダを選ぶと、最初のフォルダ(左ページの例では「01」)に戻ります。また、最初のフォルダまで移動した後に前のフォルダを選ぶと、最後のフォルダに移動します。
- MP3/WMAファイルが含まれていないフォルダは、選べません。

## いろいろな再生モードを使用する



### ●リピート演奏



「MODE」表示が点滅します。



「11 RPT」を押すごとに、リピート演奏のモードが切り換わります。


### ●音楽用CDのとき

**TRK RPT** : 現在の(または指定した)曲をくり返し演奏  
表示窓に「RPT」が表示されます。

**RPT OFF** : リピート演奏を解除

### ●MP3/WMAディスクのとき

**TRK RPT** : 現在の(または指定した)ファイルをくり返し演奏  
表示窓に「RPT」が表示されます。

**FLDR RPT** : 現在の(または指定した)フォルダ内の全ファイルをくり返し演奏  
表示窓に「とRPT」が表示されます。

**RPT OFF** : リピート演奏を解除

# 音楽用CD/MP3/WMAディスクを聞く (つづき)

## ● ランダム演奏



「MODE」表示が  
点滅します。

<sup>12 RND</sup>

**6** を押すごとに、ランダム演奏のモードが切り換わります。

## ● 音楽用CDのとき


**DISC RND** : CD内の全曲をランダムに演奏




表示窓に「RNDと」が表示されます。

**RND OFF** : ランダム演奏を解除

## ● MP3/WMAディスクのとき

→ **FLDR RND** : フォルダ内の全ファイルをランダムに演奏  
表示窓に「RNDと」が表示されます。

↓  
**DISC RND** : CD内の全ファイルをランダムに演奏  
表示窓に「RNDと」が表示されます。

↓  
**RND OFF** : ランダム演奏を解除

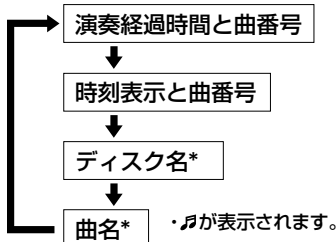


## CD演奏中の表示内容を変える



・DISPボタンを押すと、表示内容  
を変えることができます。

## ・音楽用CDのとき



\*記録されていないCDでは「NO NAME」  
表示になります。

## 〈お知らせ〉

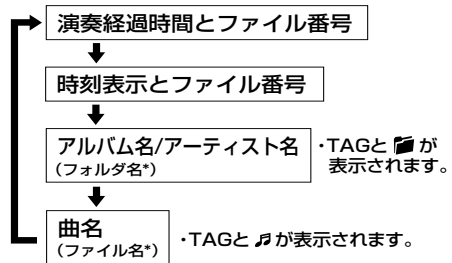
- 8文字まで表示できます。8文字を超えるとディスク名や曲名はスクロール表示されます。DISPボタンを1秒以上押したときもスクロール表示されます。
- スクロール表示は、自動で1回スクロールする状態：**ONCE**（お買い上げ時の状態）になっています。**AUTO**（自動）または**OFF**（切）に変えることもできます。（⇒33ページ参照）
- 文字表示は半角英数字が（英小文字は英大文字に変換されて）表示されます。
- 日本語（漢字、ひらがな、カタカナ）には対応していません。

## MP3 ディスク演奏中の表示を変える



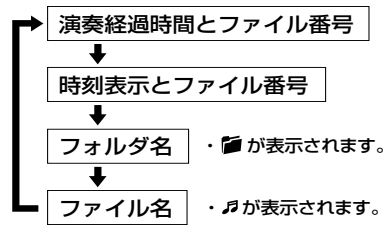
・DISPボタンを押すと、表示内容  
を変えることができます。

- ・「TAG ON」のとき（お買い上げの状態）MP3ファイルがID3 TAGを持っていると、TAGが表示されます。



\*MP3ファイルがID3 TAGを持っていないときは、フォルダ名とファイル名が表示されます。

- ・「TAG OFF」に設定してあるとき



（MP3ファイルがID3 TAGを持っていてもTAGは表示されません）

## 〈お知らせ〉

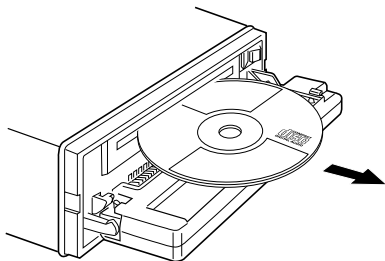
- 表示窓には8文字まで表示できます。8文字を超えると、スクロール表示されます。
- TAG ON/OFFについては34ページをご覧ください。
- ファイルにTAGがある場合は、TAG設定を「OFF」にするとアルバム/演奏者名の代わりにフォルダ名が、曲名の代わりにファイル名が表示されます。

# 音楽用CD/MP3/WMAディスクを聞く (つづき)

## CDを取り出す



▲(CD取出し)ボタンを押すと、CD挿入口が現われCDが出てきます。CDを入れる前のソース(音源)に戻ります。



(CDを取らずにそのままにしておくと、15秒後に自動で中に引き込まれます)

## 〈お知らせ〉

- エンジンキーが「OFF」のときでもCDは取り出せます。この場合、CDを取り出したあと電源が切れます。

## CDの盗難防止

CDを他の人が取り出せなくすることができます。



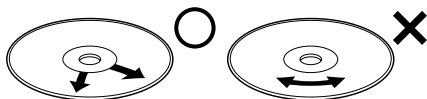
- 「<sup>ノ</sup>NO EJECT<sup>イジェクト</sup>」が点滅表示され、CDの取り出しができなくなります。もう一度同じ操作をすると、「EJECT OK」が点滅表示されCDの取り出しができるようになります。

## 〈お知らせ〉

- 本機の動作が不具合のときなどで、リセットボタンを押すと盗難防止機能は解除されません。

## CDのお手入れ

CDを挿入する前に、演奏面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。



必ず内側から外側にふく。

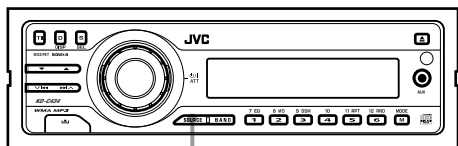
連続したキズは音飛びの原因になります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

# CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く

- 準備** ● CDチェンジャー内のマガジンに聞きたいCDを入れておきます。

## 全曲演奏 (全CDのくり返し演奏)



1

### 1 SOURCE を押してソース(音源)を「CD-CH」にする

ボタンを押すごとにソース(音源)が切り換わります(→12ページ参照)。

- 音楽用CDのとき  
最初のCDの1曲目から演奏が始まります。



② 演奏経過時間 ↓ ③ 曲番号



\* タイトルがないときは「NO NAME」と表示されます。  
また、CH-X1200で日本語のCDテキストを演奏しても、日本語は表示されません。

- 演奏を途中でやめる

SOURCE を押して他のソース(音源)に切替えます。

または電源を「切」にします。

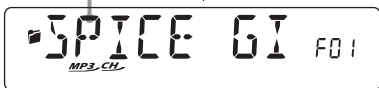
- MP3ディスクのとき

ファイルチェック後、最初のCDのファイル1から演奏が始まります。

「CHECK」表示に変わります。 ① CD番号



② フォルダ名 ↓



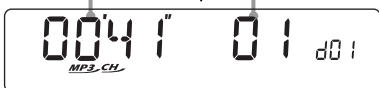
③ アルバム名/演奏者名 (またはフォルダ名\*) ↓



④ 曲名 (またはファイル名\*) ↓



⑤ 演奏経過時間 ↓ ⑥ ファイル番号



\* TAG設定が「OFF」のとき、またはTAG情報が記録されていないとき。

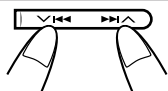
## ＜お知らせ＞

- MP3ディスクの項目は、MP3チェンジャーを本機に接続しているときに限ります。
- 多くの階層を持つディスクやCD-RWに記録したディスク、マルチセッションディスクでは再生が始まるまで時間がかかります。
- 階層化したフォルダのあるディスクは、8階層まで再生できます。
- 本機でコントロールできるチェンジャーについて
  - ・ CH-MPシリーズのMP3チェンジャー
  - ・ CH-XシリーズのCDチェンジャー(CH-X99を除く)

KD-MKシリーズのCDチェンジャーは、コントロールできません。

# CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く(つづき)

## 曲(ファイル)の頭出し/早送り・早戻し



曲(ファイル)の頭出し (スキップ)	<p>▶▶ : 押すごとに次の曲(ファイル)の頭に移ります。</p> <p>◀◀ : 演奏中の曲(ファイル)の頭に戻ります。押すごとに前の曲(ファイル)の頭に戻ります。</p>
早送り・早戻し (サーチ)	<p>▶▶ : 押し続けている間早送りされます。</p> <p>◀◀ : 押し続けている間早戻しされます。</p> <p>演奏中の音が小さく聞こえ、指を離すと普通の演奏に戻ります。</p>

- 曲を10ずつダイレクトに選ぶ (MP3対応チェンジャーのみ)

### 1 MODE を押す

「MODE」表示が点滅します。



5秒以内に

### 2 ◀▶(または ◀▶)を押してトラックを選ぶ

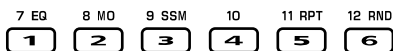
もっとも近い10の倍数(10, 20, 30...)の曲番号に変わります。その後はボタンを押すごとに、10ずつ曲番号が変わります。

詳しくは21ページの手順2をご覧ください。

## ダイレクト演奏

数字ボタンでダイレクトに選んだCDの1曲目から聞けます。

### 1 数字ボタン(1~6)を押す



- 1~6枚目を選ぶときは、数字ボタンの1~6のいずれかを「ボン」と押します。

例: 3枚目を選ぶ を「ボン」と押します。

- 7~12枚目を選ぶときは、数字ボタンを1秒以上押します。

例: 12枚目を選ぶ を1秒以上押します。

## フォルダの頭出しをする

MP3ディスクのときのみ使用できます。

: 押すごとに次のフォルダの頭に移ります。

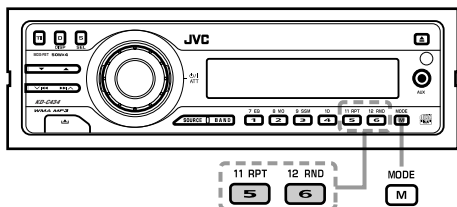
: 再生中のフォルダの1つ前のフォルダの頭に戻ります。

## CD演奏中の表示内容を変える

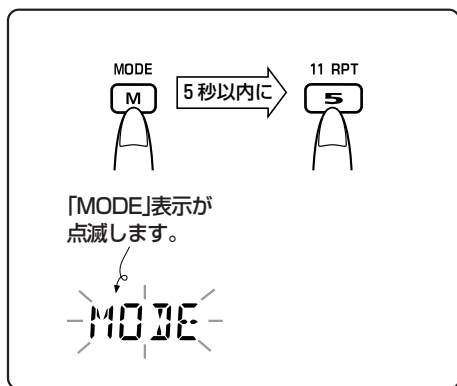
を押します。

押すごとに表示窓の表示内容が切り換わります。(→ 25ページ参照)

## いろいろな再生モードを使用する




### ● リピート演奏





11 RPT  
5 を押しごとに、リピート演奏のモードが切り換わります。

### ● 音楽用CDのとき

- **TRK RPT** : 現在の(または指定した)曲をくり返し演奏  
表示窓に「RPT」が表示されます。
- ↓
- DISC RPT** : 演奏中のCDの全曲をくり返し演奏  
表示窓に「とRPT」が表示されます。
- ↓
- RPT OFF** : リピート演奏を解除

### ● MP3ディスクのとき

- **TRK RPT** : 現在の(または指定した)ファイルをくり返し演奏  
表示窓に「RPT」が表示されます。
- ↓
- FLDR RPT** : 現在の(または指定した)フォルダ内の全ファイルをくり返し演奏  
表示窓に「とRPT」が表示されます。
- ↓
- DISC RPT** : 演奏中のCDの全ファイルをくり返し演奏  
表示窓に「とRPT」が表示されます。
- ↓
- RPT OFF** : リピート演奏を解除

# CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く(つづき)

## ● ランダム演奏

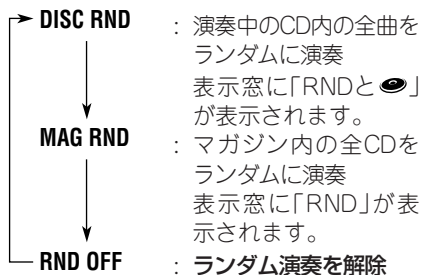


「MODE」表示が  
点滅します。

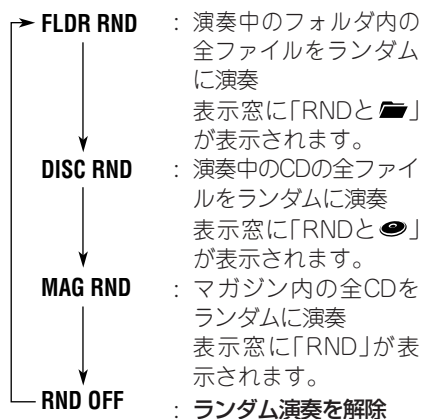
12 RND

**6** を押すごとに、ランダム演奏のモードが切り換わります。

## ● 音楽用CDのとき



## ● MP3ディスクのとき

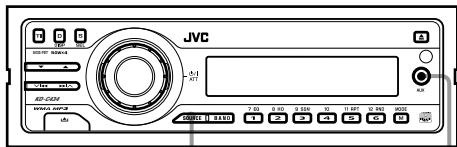


# 他の機器の音を聞く

## CDチェンジャー端子を使うとき

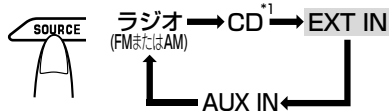
### 準備

- 変換コード：KS-U57(別売り)を使ってCDチェンジャー端子にカーAV機器を接続しておきます。→別紙の取付説明書参照
- 「CD-CH」のソース(音源)を「EXT IN」に切換えておきます。(→ 34ページ参照)



1-1 フロントAUX端子

## 1 SOURCE を押してソース(音源)を「EXT IN(ライン入力)」にする



- \* 1 本機にCDが入っているとき選べます。
- ・表示窓が「EXT IN」表示に変わります。

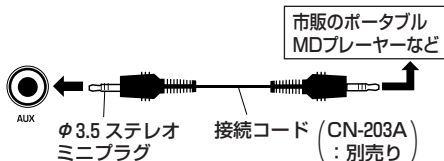
## 2 接続した機器を演奏状態にする

- ・接続した機器に音量調節があるときは、CDなどの演奏音と同じ程度に聞こえるように調節してください。

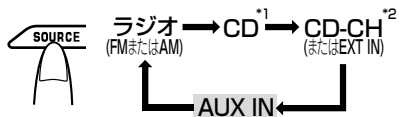
## フロントAUX端子を使うとき

### 準備

- フロントAUX端子にポータブルMDプレーヤーなどを接続しておきます。



## 1 SOURCE を押してソース(音源)を「AUX-IN(外部入力)」にする



- \* 1 本機にCDが入っているとき選べます。
- \* 2 CDチェンジャーが接続されているとき選べます。

## 2 接続した機器を演奏状態にする

- ・接続した機器に音量調節があるときは、CDなどの演奏音と同じ程度に聞こえるように調節してください。
- ・フロントAUXの音が小さいときは、「SELボタンを使って設定を変える」の操作で「AUX ADJ」を選び入力感度を調節します。(→ 32ページ参照)



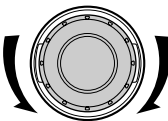
CDチェンジャー(別売り)のCDを聞く(つづき)・他の機器の音を聞く

## 〈お知らせ〉

- 接続ができる他の機器は、RCAの2チャンネル出力端子付のものを用意してください。接続する機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく配線してください。
- すでにCDチェンジャーを接続しているときは、EXT INがご利用になれません。

# SELボタンを使って設定を変える

## • SELボタンのモード一覧

<b>1</b> SELボタンを 2秒以上押す 	<b>2</b> ▶▶(または◀◀)ボ タンでモードを選 ぶ  逆にも 選べます	<b>3</b> 設定する 	参 照 ペー じ	
<p>           DEMO ↓ CLOCK H ↓ CLOCK M ↓ LEVEL ↓ DIMMER ↓ MUTING ↓ SCROLL ↓ WOOFER ↓ EXT IN* ↓ AUX ADJ ↓ TAG DISP ↓ AMP GAIN         </p>	初期設定値	DEMO OFF	DEMO ON	<b>33</b>
	DEMO ON	1 → 12 → 11 → …	1 → 2 → 3 → …	<b>13</b>
	1 : 00	00 → 59 → 58 → …	00 → 01 → 02 → …	
	ON	OFF	ON	<b>33</b>
	AUTO	AUTO ← ON → OFF ↑                    ↓		<b>33</b>
	OFF	OFF ← MUTING 1 → ↑                    ↓ MUTING 2		<b>33</b>
	ONCE	ONCE ← AUTO → ↑                    ↓ OFF		<b>33</b>
	MID	MID ← HIGH → ↑                    ↓ LOW		<b>34</b>
	CHANGER	CHANGER	EXT IN	<b>34</b>
	A.ADJ 00	A.ADJ 00 ~ A.ADJ 05		<b>34</b>
	TAG ON	TAG OFF	TAG ON	<b>34</b>
	HIGH PWR	LOW PWR	HIGH PWR	<b>34</b>

\* 現在のソース(音源)が「CHANGER」または「EXT IN」のときは表示されません。



## 各モードの機能説明

デモ  
DEMO

表示窓のデモ表示を出なくすることができません。

- **DEMO ON** : ソース(音源)表示から20秒後に自動的にデモ表示。
- **DEMO OFF** : デモ表示なし。

レベル  
LEVEL

表示窓のEQ表示部がレベルメーターまたはサウンドモードの表示になります。

- **ON** : 音量に応じてレベルメーターとして働きます。
- **OFF** : サウンドモード(EQ)の設定状態を表します。

ディマー  
DIMMER

表示窓の明るさを状況に応じて変えることができます。

- **AUTO** : 車両のライトのON/OFFに連動して明るさが変わります  
(本機の「イルミネーション」コードを  
車両のイルミ電源に接続しておきます)
- **OFF** : 明るさは変わりません。
- **ON** : 常時暗くなります。

ミュートイング  
MUTING

市販のカーナビゲーションのボイスコマンド入力時または音声ガイド中に、本機の音声を一時的に消音(ミュートイング)することができます。なお、ミュートイング中、CDの演奏は停止しません。

- **MUTING 1** : 「ミュートイング」コード(茶)を接続したあと、通常はこの設定で使います。ミュートイングが正しく動作することを確認してください。
- **MUTING 2** : MUTING 1ではミュートイングが正しく動作しないときこの設定にして、ミュートイングが正しく動作することを確認してください。
- **OFF** : 本機能を使用しないとき。または1/2ともミュートイングが正しく動作しないとき、この設定にします。

なお、ミュートイングによって音声がでないときは、本機の表示窓に「MUTING」が点滅表示されます。

(市販の全てのナビゲーションシステムとの接続で、動作を保証するものではありません)

スクロール  
SCROLL

表示窓の文字表示(8文字以上)がスクロール表示されるときモードが選べます。

- **ONCE** : 表示を切換えたとき1回スクロール。
- **AUTO** : スクロールをくり返す。
- **OFF** : DISPボタンを1秒以上押したときだけスクロール。

## 〈お知らせ〉

- ◀▶ボタンを押すとSELボタンのモードは逆に選べます。
- 各操作は、15秒以上間隔を空けないでください。
- 設定ができたあとは、SELボタンを押して終了します。  
SELボタンを押さないときは、15秒後に自動で終了します。
- バッテリー交換などで本機への電源が途切れると、設定した内容は初期設定に戻ります。

# SELボタンを使って設定を変える(つづき)

## ウーハー WOOFER

サブウーハーのカットオフ周波数が選べます。低音が豊かに聞こえるように選びます。

- **LOW** : カットオフ周波数を 55Hz にするとき
- **MID** : カットオフ周波数を 85Hz にするとき
- **HIGH** : カットオフ周波数を 115Hz にするとき

## エクスターナル イン EXT IN

CD チェンジャー端子に他の機器を接続したときは「EXT IN」に切換えます。

ソース(音源)を「ラジオ」にしてから切換えます。

- **CHANGER** : CD チェンジャーをつないだとき(お買い上げ時の状態)
- **EXT IN** : 他の機器をつないだとき

## エーユーエックス アジャスト AUX ADJ

フロント AUX 端子の入力感度を調節することができます。

- **A.ADJ 00** ~ **A.ADJ 05** の範囲で調節できます。

## タグ ディスプレイ TAG DISP

MP3ディスクのID3 TAG表示を「オン/オフ」することができます。

- **TAG ON** : ID3 TAG 表示をする。
- **TAG OFF** : ID3 TAG 表示はしない。

## アンプ ゲイン AMP GAIN

純正スピーカーを壊さないために、本機に接続したスピーカーの最大入力ワット数に合わせて切換えます。

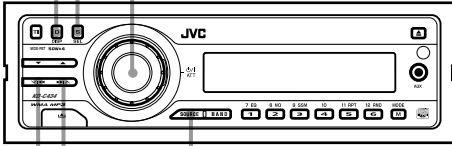
- **HIGH PWR** : スピーカーの最大入力パワーが 50 W を超えるとき (VOL 00 ~ VOL 50)
- **LOW PWR** : スピーカーの最大入力パワーが 50 W 以下のとき (VOL 00 ~ VOL 30)

# 文字の入力のしかた

## 文字の入力と修正・削除

放送局名を30局分、最大8文字または30枚／最大32文字のディスク名が入力できます。

2 2・4 3-1



3-2 1

### 1 文字を入力したいソース (音源)を選ぶ

・FM、AM、CDまたはCD-CH(CDチェンジャー)のいずれかを選びます。

### 2 DISPを押したままSELを同時に2秒以上押す

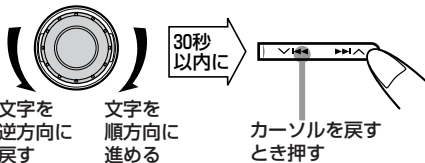


・押したまま… 2秒以上押す

30秒以内に

### 3 回転ボタンと▶▶ボタンで名前を入力する

(3-1と3-2をくり返す)



3-1文字を選び… 3-2カーソルを右に移す

・文字を間違えたときは、◀◀ボタンでカーソルを戻し回転ボリュームで正しい文字を上書きします。  
スペース(空白)を選んで▶▶ボタンを押すと、文字を消すこともできます。

30秒以内に

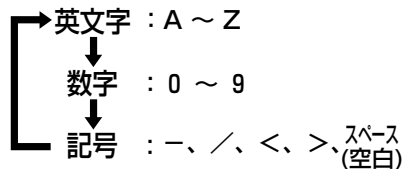
### 4 SELを押して文字を確定する



- ・全てスペース(空白)を入力し、確定すると局名を消すことができます。
- ・局名を入力したあとDISPボタンを1秒以上押したときも、全て消すことができます。このあと必ずSELボタンを押して確定してください。削除されます。

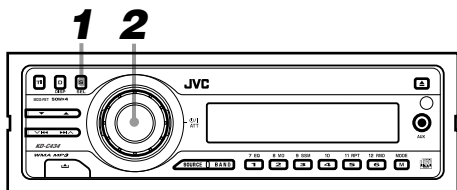
### 〈お知らせ〉

- 31局目の放送局名または31枚目のディスク名を入力すると、「NAME FULL」が表示されます。
- CDテキストやMP3/WMAディスクには、ディスク名の登録ができません。
- 文字の配列について  
手順3のとき回転ボリュームを右方向に回すと次のように選べます。



左方向に回すと逆に選べます。

# 音量・音質の調節



**1** SEL を押して調節したい項目を選ぶ



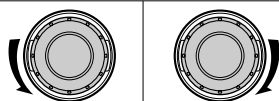
・「ボン・ボン」と押すごとに以下のように入ります。

BAS → TRE → FAD → BAL  
 ↓ VOL ← SUB W ← LOUD ↓

・音量調節 (VOL) のみのときは、回転ボリュームを直接回して調節します。

5秒以内に

**2** を回して音量・音質を調節する



<b>BAS</b> (低音)	低音が減衰する	低音が強調される
<b>TRE</b> (高音)	高音が減衰する	高音が強調される
<b>FAD</b> (フェーダー)	フロントの音量が下がる	リアの音量が下がる
<b>BAL</b> (バランス)	右チャンネルの音量が下がる	左チャンネルの音量が下がる
<b>LOUD</b> (ラウドネス)	ラウドネス OFF	ラウドネス ON
<b>SUB. W</b> (サブウーハー)	重低音が減衰する	重低音が増強される
<b>VOL</b> (音量)	音量が下がる	音量が上がる


・調節から5秒後に、表示窓は自動で前の表示に戻ります。

## ● 音量・音質の初期設定状態と調節範囲

	初期設定	設定範囲
BAS(低音)	00(フラット)	-06~+06
TRE(高音)	00(フラット)	-06~+06
FAD(フェーダー)	00(センター)	リア R06~F06 フロント
BAL(バランス)	00(センター)	レフト L06~ライト R06
LOUD(ラウドネス)	OFF	ON/OFF
SUB.W(サブウーハー)	04	00~08
VOL(音量)	15	00~50 (30*)

\* 「AMP GAIN」を「LOW PWR」に設定すると、00~30に変わります。(→ 34ページ参照)

## 〈お知らせ〉

- ・ラウドネス「ON」に設定すると、表示窓に  が表示されます。小音量時の低音・高音が増強され聞きやすくなります。



- ・フェーダー調節は、4スピーカー接続のときに限り調節してください。
- ・調節したレベルが表示窓に表示されます。

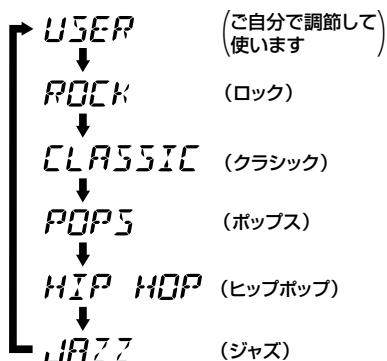
## EQボタンで音質を選ぶ



・「MODE」表示が点滅します。

・EQパターンを選びます。

EQ(イコライザー)ボタンを使うと、お聞きになる音楽のジャンルに合わせて音質が選べます。



例: ロックのとき



## 〈お知らせ〉

- 「USER」は、お買い上げ時フラットな状態になっております。
- 「ROCK」と「HIP HOP」は、お買い上げ時ラウドネス「オン」に設定されております。
- 付属のリモコン(RM-RK50)で操作する



SOUNDボタンを押すと、EQパターンが上記の順にダイレクトに選べます。

## EQのメモリー内容を変える

EQの各パターンは、お好みの音質に調節しメモリーしておくことができます。

## 1 ソース(音源)を選ぶ

・ラジオ、CDまたはCDチェンジャーなどから選びます。

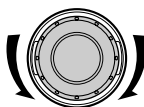
## 2 MODE [M] を押したあと5秒以内に 7 EQ [7] でいずれかのEQパターンを選ぶ

・USER～JAZZのいずれかが選べます。

## 3 [SEL] を押して「BAS」または「TRE」を選ぶ

・現在のレベルが表示されます。  
・ラウドネスを「オン↔オフ」したいときは、「LOUD」を選びます。

## 4 [EQ] で音質を調節する



・手順3と4をくり返して「BAS」と「TRE」を調節します。

- 調節から5秒後に、表示窓は自動で前の表示に戻ります。調節したレベルは自動的にメモリーされます。

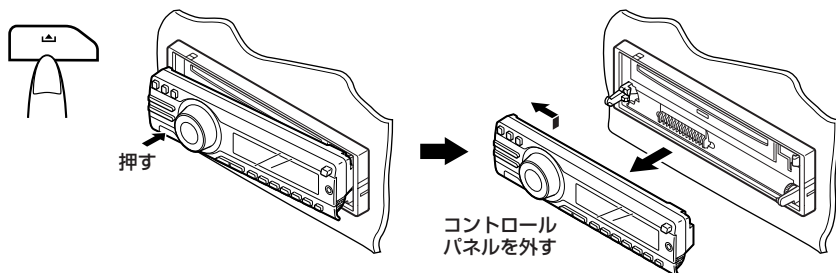
# コントロールパネルの着脱

## コントロールパネルを外す

**1**  を1秒以上押して電源を「切」にする

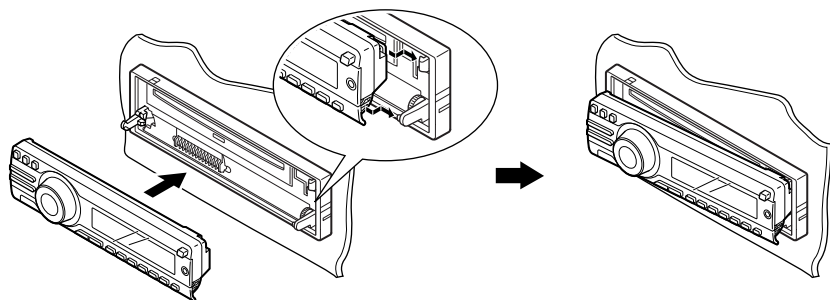


**2**  を押す

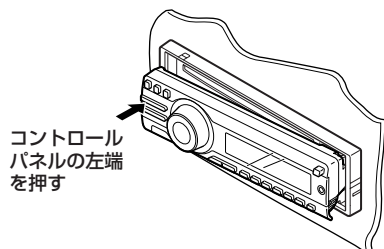


## コントロールパネルを取り付ける

**1** コントロールパネルの右側を本体に合わせて入れる



**2** コントロールパネルの左端を「カチッ」と音がするまで押す



### 〈お知らせ〉

- お買い上げ時は、コントロールパネルが本体から外れています。

# 故障かな？と思う前に

—おや？故障かな？と思ったら…修理を依頼される前にもう一度お確かめください。—

コントロールパネルの着脱・故障かな？と思う前に

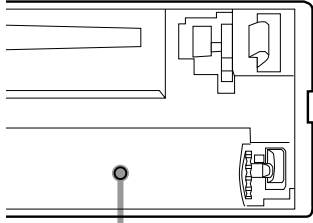
症 状	原 因 ・ 処 置
-----	-----------

どのボタンを押しても正しく動作しない。

- 雑音などの影響で内蔵のマイコンが誤動作している。  
→リセットボタンを押す。  
(時計の設定や放送局などのメモリー内容が取り消され、お買い上げの状態に戻ります)

**操作のしかた**

- 1** コントロールパネルを外す  
(→38ページ参照)
- 2** リセットボタンをボールペンなどで軽く押す



リセットボタン

- 3** コントロールパネルを取り付ける  
(→38ページ参照)

電源を切っても「ATT」表示が点滅する。

- 0/I (電源) / ATT ボタンを「SEE YOU」が表示されるまで… 1 秒以上… 押す。

電源が入らない。  
(DISP ボタンを押すと) 時計は表示される

- 電源 (ACC ライン) のコードが接続されていないため。
- 車のエンジンキーが「OFF」または ACC「OFF」のため。  
(→12ページ参照)

CD の取り出しができない。

- 盗難防止状態になっている。  
→SOURCE ボタンを押したまま 0/I (電源) / ATT ボタンを同時に 2 秒以上押す。(→26ページ参照)

# 故障かな?と思う前に (つづき)

症 状	原 因 ・ 処 置
CDを入れても音が出ない。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 音量を適度に調節する。</li><li>● 内部のレンズが結露(つゆつき)している。 →ラジオを聞くなどして1~2時間待つ。</li></ul>
CD-R/CD-RWディスクの再生ができない。 CD-R/CD-RWディスクのスキップ演奏ができない。	<ul style="list-style-type: none"><li>● ファイナライズ処理がされていないため。 →ファイナライズ処理したディスクと交換する。 または録音した機器でファイナライズ処理をする。</li></ul>
演奏が始まらずに PLEASE ↓ EJECTが交互に表示される。	<ul style="list-style-type: none"><li>● CDが裏返しに入っている。 →文字のある面を上にしてCDを入れ直す。</li></ul>
演奏の途中でCDが音飛びしたり停止する。	<ul style="list-style-type: none"><li>● CD-R/CD-RWディスクにラベルなどが張ってあるため、温度上昇によりディスクが反っている。 →ラベルなどを張ったディスクは使用しない。 (→7ページ参照)</li></ul>
放送がうまく受信できない。 雑音が多くて聞きにくい。 AMラジオが受信できない。	<ul style="list-style-type: none"><li>● アンテナの接続を確かめる。またはアンテナが十分に伸びているか確かめる。</li><li>● オートアンテナコントロール端子(またはアンテナブラスター電源端子)に本機の <b>アンテナコントロール電源</b> コードを正しく接続する。</li><li>● 放送局の周波数に正しく合わせる。</li><li>● 携帯電話などを本機から離す。</li></ul>
CDの出し入れやコントロールパネルを開けたとき音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"><li>● これらの動作のときは、音声にミュートンギングをかけて雑音の発生を防いでいるためで故障ではありません。</li></ul>

## 〈お知らせ〉

- 本機の故障や不具合等により、利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。



## こんな表示のときは

表 示	原 因 ・ 処 置
NO NAME	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ディスク名や曲名が記録されていないときDISPボタンを押したため。 → ディスク名または曲名が記録されているディスクを入れる。</li> <li>● 放送局名が入力されていないときDISPボタンを押したため。 → 放送局名を入力する。</li> </ul>
PLEASE ↑ EJECT	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CDの読み取りでエラーが発生したため。</li> <li>● CD-R/RWに記録したデータが劣化している (→19ページ参照)</li> <li>● ファイナライズ処理がされていない。(→19ページ参照) → ▲(CD取出し)ボタンを押したあとCDを入れ直す。 または他のCDを入れ直して本機が異常でないか確かめる。</li> </ul>
● CDチェンジャー	
RESET 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CDチェンジャーとの通信エラーが発生したため。 → CDチェンジャーとの接続コードを確認する。</li> </ul>
RESET <sup>数字</sup> ○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● CDチェンジャー本体にエラーが発生したため。 → CDチェンジャーの取扱説明書の「エラーコードについて」をご覧ください。</li> </ul>

# 保証とアフターサービス (必ずお読みください)

## 保証書(別添)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

### 保証期間

お買い上げの日から1年間

## 補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後6年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

## 修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、お買い上げ販売店または別紙の「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

## 修理を依頼されるときは

## 持込修理

39～41ページの「故障かな?と思う前に」に従ってお調べください。それでもなお正しく動作しないときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。このとき不具合の発生したCDなどのメディアも、一緒にご持参ください。

### 保証期間は

修理に際しましては保証書をご提示ください。  
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

### 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

便利メモ	お買い上げ日	
	お買い上げ店名	☎( ) -

# 主な仕様

●本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

## CDプレーヤー部

- 型 式：コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
- サンプリング  
周波数：44.1kHz
- チャンネル数：2チャンネル・ステレオ
- 周波数特性：5Hz～20kHz
- ダイナミックレンジ：98dB
- S N 比：102 dB

## チューナー部

- アンテナ端子：外部FM/AM兼用アンテナコネクター×1  
(JASOプラグ仕様)
- FMチューナー部
  - 受信周波数：76.0MHz～90.0MHz
  - 実用感度：14.3dBf(1.43 $\mu$ V/75 $\Omega$ )
- AMチューナー部
  - 受信周波数：522kHz～1,629kHz
  - 実用感度：27dB $\mu$ (22.4 $\mu$ V)

## オーディオアンプ部

- 最大出力：フロント 50W+50W  
(4 $\Omega$ 、1kHz)  
リア 50W+50W  
(4 $\Omega$ 、1kHz)
- 適合インピーダンス：4 $\Omega$ (4 $\Omega$ ～8 $\Omega$ で使用可能)
- 入力端子：DINジャック×1  
AUX( $\phi$ 3.5ステレオミニ)×1、  
1.5V/20k $\Omega$
- 出力端子：LINE OUT(2系統)、  
4.0V/1k $\Omega$   
SUB WOOFER(1系統)

## 電源部・その他

- 電源電圧：DC14.4V(11V～16Vで使用可能)  
マイナスアース専用
- 取付寸法：幅178mm×高さ50mm×奥行150mm
- 外形寸法：幅178mm×高さ50mm×奥行166mm
- 質量：約1.4kg(付属品含まず)

## 付属品

・リモコン(RM-RK50) .....	1
・電池(CR2025) .....	1
・接続コード(16ピンコネクター) .....	1
・ネジ(M5 × 8 mm) .....	4
・皿ネジ(M5 × 8 mm) .....	4

## 別売りのオプション品

- RCA PIN コード：CN-505E(長さ0.5m)  
CN-510E(長さ1m)  
CN-520E(長さ2m)
- 変換コード：KS-U57

- 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。  
(品番は変更されることがあります)

# お手入れ

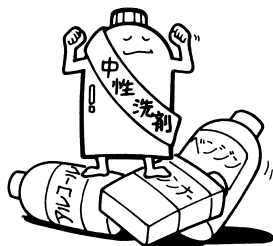
## 本体の清掃

パネル面が汚れたら柔らかい布などで**からぶ**きしてください。

汚れがひどいときは、水または中性洗剤を少し布につけてふき、あとは**からぶ**きしてください。

### ご注意

- シンナーやベンジン、アルコールなどの化学薬品でふいたり、殺虫剤をかけないでください。変色したり表面の仕上げをいためることがあります。



## ご相談や修理は

ビクター製品についてのご相談や修理のご依頼は、  
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに  
関するご相談

お買い物相談や製品についての全般的なご相談  
JVCカーオーディオお客様ご相談センター

別紙の  
「JVCカーオーディオ製品サービス窓口案内」  
をご覧ください。

**F** 0120-977-846 (フリーコール)  
FAX(027)254-8927

受付時間 10:00~18:00

(土、日、祝日、当社休日を除く)

〒371-8543 群馬県前橋市大渡町一丁目10番地の1

ビクターインターネットホームページアドレス <http://www.jvc-victor.co.jp/>

カーAV機器ホームページアドレス <http://www.jvc-victor.co.jp/car/>

# JVC

## 日本ビクター株式会社

AV&マルチメディアカンパニー

〒221-8528 横浜市神奈川区守屋町3-12